

分野	教育内容	科目名称	単位	時間	担当講師 【開講時期】	科目目標 【設定理由】	科目内容	医学書院 教科書
専門分野	基礎看護学	看護学概論Ⅰ	2	60	高味紀子 【1年通年】	看護とは何か、看護師とはどのような職業か、看護の概念について理解する。	1 科目ガイダンス 序章:看護を学ぶにあたって 2. 3. 4. 5 第1章 看護とは 看護の本質 看護の役割と機能 看護の継続性と連携 6. 7. 8. 9 第2章 看護の対象の理解 人間の「こころ」と「からだ」、「暮らし」の理解 10. 11. 12. 13. 14. 15 第3章 国民の健康と生活 健康のとらえ方 ライフサイクルと健康 16. 17. 18. 19 第4章 看護の提供者 職業としての看護、継続教育とキャリア開発 20. 21. 22. 23 第5章 看護における倫理 現代社会と倫理 歴史的経緯と看護倫理 24. 25. 26. 27. 28 第6章 看護の提供のしくみ 看護をめぐる制度と政策 サービスとしての看護 29. 30 国家試験対策学習とまとめ	専門分野 基礎看護学「看護学概論」
		看護学概論Ⅱ	1	30	山巻公子 【1年通年】	看護専門職としての基本的役割を理解する。	1 序章 看護技術とは 2. 3 第2章 感染防止の技術 標準予防策と感染経路別予防策 針刺し事故防止 4. 5 手洗い、PPE演習 モデル人形によるガーゼ交換演習 (無菌操作) 6-10 第1章 コミュニケーション 意義と目的 構成要素と成立過程 コミュニケーションスキルの実際 11-15 第3章 安全確保の技術 誤薬防止 患者誤認防止 転倒転落防止	専門分野 基礎看護学「基礎看護技術Ⅰ」
		看護研究	1	30	山本奈津枝 【2年通年】	看護の本質を研究のプロセスから理解する。	1 第1章 看護研究とは 看護研究の役割と特徴、歴史、重要性 2 第4章 研究における倫理的配慮 3 第5章 研究デザイン 質的研究と量的研究 4 第6・7章 データの収集と分析 5 ケーススタディとは ケーススタディのまとめ方 6 クリティークについて 7-10 基礎Ⅱ 受持ち事例検討 ケーススタディ作成 11. 12 ケーススタディ発表会 13. 14 関西看護研究大会への参加 15 関西看護学生研究大会 参加レポート作成	専門分野 基礎看護学「看護研究」
		基礎看護学方法論Ⅰ	1	30	福原眞記子 【1年後期】	看護実践としての方法論を学び思考プロセスを理解する。	1 第5章 看護過程展開の技術 看護過程とは 2 看護過程を展開する際に基盤となる考え方 3 看護過程の各段階 看護記録 4. 5 ハンダーソンノード論による看護過程展開 6. 7. 8 事例展開①全体演習 9. 10. 11 事例展開②個人演習 12. 13 第6章 学習支援 14. 15 NANDAⅠ 看護診断について	専門分野 基礎看護学「基礎看護技術Ⅰ」

分野	教育内容	科目名称	単位	時間	担当講師 【開講時期】	科目目標 【設定理由】	科目内容	医学書院 教科書
		基礎看護学方法論Ⅱ	2	60	角谷典子 【1年前期】	人間にとっての環境、食事、排泄、活動と休息を看護の視点から捉え、対象の日常生活を調整してゆくための基礎的知識と援助技術を習得する	<p>第1章 環境調整技術</p> <p>1. 2 療養生活の環境 病室の環境アセスメント</p> <p>3. 4 ベッド周囲の環境整備演習 (モデル人形による臥床患者)</p> <p>5. 6 臥床患者の病床を整える演習 (モデル人形による臥床患者)</p> <p>第2章 食事援助技術</p> <p>7. 8 栄養状態および摂食能力、食欲や食に関するアセスメント</p> <p>9. 10 食事摂取の介助の基礎知識と援助の実際 摂食、嚥下訓練の基礎知識と援助の実際</p> <p>11. 12 視力障害のある臥床患者の食事介助演習 (学生同士アイマスク着用)</p> <p>13 非経口的栄養摂取の援助 経管栄養法、中心静脈栄養法</p> <p>14. 15 経管栄養法による流動食注入演習 (モデル人形による演習)</p> <p>第3章 排泄援助技術</p> <p>16. 17 自然排尿および自然排便 基礎知識と介助の実際</p> <p>18 一時的導尿と持続的導尿</p> <p>19. 20 排便を促す援助の基礎知識 浣腸と摘便</p> <p>21. 22 モデル人形でのグリセリン浣腸演習</p> <p>第4章 活動・休息援助技術</p> <p>23 基本的活動の援助 よい姿勢、ボディメカニクス、体位、移動</p> <p>24. 25 車椅子の自走体験 モデル人形のベッドからストレッチャー への移動と移送演習</p> <p>26 睡眠・休息の援助</p> <p>27. 28 技術試験練習 設題① モデル人形でのグリセリン浣腸 設題② 臥床患者(モデル人形)の環境整備</p> <p>29. 30 技術試験A</p>	<p>専門分野 基礎看護学 「基礎看護技術Ⅱ」</p> <p>専門分野 基礎看護学 「基礎看護技術Ⅱ」</p> <p>専門分野 基礎看護学 「基礎看護技術Ⅱ」</p> <p>専門分野 基礎看護学 「基礎看護技術Ⅱ」</p>
		基礎看護学方法論Ⅲ	2	60	角谷典子 【1年通年】	患者の苦痛を緩和し、清潔を保持するという日常生活援助技術を、診療の補助技術と関連させて習得する	<p>第5章 苦痛の緩和・安楽確保の技術</p> <p>1 体位保持、ポジショニング</p> <p>2. 3 電法 温電法、冷電法 湯たんぽ、氷嚢、氷枕演習 (学生同士で患者、看護師役)</p> <p>4 身体ケアを通じてもたらされる安楽</p> <p>第6章 清潔・衣生活援助技術</p> <p>5. 6 清潔援助の基礎知識と援助の実際</p> <p>7. 8 清潔援助の実際</p> <p>9. 10 病床での衣生活の援助</p> <p>11. 12 点滴をしている臥床患者(モデル人形) の上半身清拭と寝衣交換演習 (モデル人形で実施)</p> <p>13. 14 酸素カニューレをつけた患者の洗髪演習 (学生同士洗髪台で前向き)</p> <p>第7章 呼吸・循環を整える技術</p> <p>15 酸素療法の基礎知識と援助の実際</p> <p>16 排痰ケアの基礎知識と援助の実際</p> <p>17. 18 吸入の基礎知識と援助技術 モデル人形による口腔、気管内吸引演習 (吸引前後にネプライゼーションマスク装着)</p> <p>19 体温調節、末梢循環促進ケア</p>	<p>専門分野 基礎看護学 「基礎看護技術Ⅱ」</p> <p>専門分野 基礎看護学 「基礎看護技術Ⅱ」</p> <p>専門分野 基礎看護学 「基礎看護技術Ⅱ」</p>

分野	教育内容	科目名称	単位	時間	担当講師 【開講時期】	科目目標 【設定理由】	科目内容	医学書院 教科書
		基礎看護学方法論Ⅲ			角谷典子 【1年通年】		第8章 創傷管理技術 20 創傷処置、包帯法、褥瘡予防 21 巻軸帯の巻き方、三角巾上肢固定演習 (学生同士で実施)	専門分野 基礎看護学 「基礎看護技術Ⅱ」
							第9章 与薬の技術 22. 23 経口与薬、口腔内与薬、吸入、点眼、点鼻 経皮的与薬、直腸内与薬 24 注射の基礎知識と実施法 25. 26 静脈内注射、採血演習 (シンジヨー君使用)	専門分野 基礎看護学 「基礎看護技術Ⅱ」
							27. 28 技術試験練習 設題① 点滴をしている患者(モデル人形)の 上半身清拭と寝衣交換 設題② 臥床患者(モデル人形)の 創傷の処置を行い包帯を巻く 設題③ シンジヨー君での採血と検体の取り扱い 29. 30 技術試験B	
		基礎看護学方法論Ⅳ	1	30	福原眞記子 【1年後期】	ヘルスアセスメントの意義と目的を理解し、必要とされる技術を学ぶ。	第4章 ヘルスアセスメント 1 ヘルスアセスメントとフィジカルアセスメント 2 フィジカルイグザミネーション 3 フィジカルアセスメントに必要な技術 4 バイタルサインの観察とアセスメント 5. 6 計測の実際とアセスメント 7 系統別フィジカルアセスメント 8. 9 VS測定、観察 10. 11 腸蠕動音、呼吸音、心音聴取演習 (学生同士の実施) 12 心理社会的側面のアセスメント	専門分野 基礎看護学 「基礎看護技術Ⅰ」
							13 VS測定練習 設題① VS測定結果を記録し報告する (ペアで患者役、看護師役を実施) 14. 15 技術試験C	
		基礎看護学方法論Ⅴ	1	30	福原眞記子 【1年後期】	診療の補助に必要な技術を習得すると共に、緊急時の対応や看護における葬送儀礼と死後の処置の実際を学ぶ。 健康状態の経過に基づく看護の基本を理解し、主要症状を示す患者への看護を学ぶ。	基礎看護技術Ⅱ 第10章 救命救急処置技術 救命救急処置の基礎知識 1-3 心肺蘇生法、止血法、院内急変時の対応 4. 5 救急蘇生演習(消防署) 第11章 症状・生体機能管理技術 6. 7 検体検査(血液、尿、便、喀痰) 生体情報のモニタリング(心電図、SpO2)等 第12章 診察・検査・処置における技術 8-10 診察の介助、検査処置の介助 第13章 死の看取りの援助 11 葬送儀礼と死後の処置 臨床看護総論 12-15 第2章 健康状態の経過に基づく看護 第3章 主要な症状を示す対象者への看護	専門分野 基礎看護学 「基礎看護技術Ⅱ」 「臨床看護総論」
地域・在宅看護論	在宅看護概論	1	30	森元茜 【2年前期】	在宅療養者と家族を理解し、保健・医療・福祉の連携における看護の役割を理解する。	1 在宅看護の目的と特徴 2. 3 兵庫県リハビリテーションセンター 「福祉のまちづくり研究所」施設見学 4 在宅看護の対象者 5 在宅療養の基本・法令・制度 6 在宅看護の制度 7. 8 訪問看護サービスのしくみと提供 9 療養の場の移行に伴う看護 10. 11 地域包括ケアシステムと多職種連携 12. 13 在宅看護のケースマネジメント 14. 15 これからの地域・在宅看護	専門分野 「地域・在宅看護論Ⅰ・Ⅱ」	

分野	教育内容	科目名称	単位	時間	担当講師 【開講時期】	科目目標 【設定理由】	科目内容	医学書院 教科書
		地域看護概論	1	30	森元茜 【1年前期】	地域で生活する人々とその家族を理解し、地域における様々な場での看護の基礎を学ぶ。	1 地域看護の理念と目的 2 看護職の活動の場と特性 3 地域看護の変遷 4 地域看護と倫理 5 人々の生活と健康 6-8 地域看護と社会 コミュニティ、環境、産業と経済 法律と行政、文化 9. 10 地域看護の方法(コミュニティの支援) 11. 12 地域看護の方法(個人家族への支援) 13. 14 地域包括ケアシステム 14. 15 これからの地域看護	専門分野 「地域・在宅看護論 I・II」
		地域・在宅看護方法論 I	2	30	稲葉典子 【1年後期】	日常生活を中心とした在宅看護、援助の基本について理解する。	1 在宅ケアとケアマネジメント 2 訪問看護の特徴と流れ 3. 4 療養者への日常生活援助 清潔、排泄、便秘、嚥下障害、服薬管理 移動、訪問入浴の実際 5. 6 医療管理を要する人の看護 褥瘡予防とケア、バルンカテーテル 自己導尿、胃ろう、中心静脈栄養 在宅酸素療法、気管切開、人工呼吸器 7 エンドオブライフケアの特徴と在宅での支援の実際 8. 9 療養者への日常生活援助 演習発表 10. 11 疾患別在宅看護の実際 12. 13 疾患別日常生活援助演習 がん終末期、ALS胃ろう管理等 14. 15 疾患別日常生活援助演習発表	専門分野 「地域・在宅看護論 I・II」
		地域・在宅看護方法論 II	2	30	森元茜 【3年前期】	在宅で療養する人と家族を理解し、必要な看護が実践できる基礎的能力を身につける	1 在宅で看護を展開するにあたって コミュニケーションと信頼関係 2 在宅看護過程の展開のポイント 3 療養上のリスクマネジメント 4 在宅看護における権利保障 5-10 事例による看護過程の展開 COPD療養者 脳卒中をおこした療養者 ALS療養者 統合失調症療養者 認知症療養者 11-13 在宅で求められる看護技術演習 胃ろう注入と管理、摘便 在宅酸素療法、褥瘡ケア ポータブル吸引器による吸引 14. 15 技術試験	専門分野 「地域・在宅看護論 I・II」
成人看護学	成人看護学概論	1	15	中道淳美 【1年後期】	1. 成人の生活と健康に関する基本的知識を理解する。 2. 成人の多様な健康状態や対応するための看護アプローチの基本的な考え方やその看護方法を理解する。	1 第1章 成人と生活 2 第3章 成人への看護アプローチの基本 3 第6章 健康生活の急激な破綻から回復を促す看護 4 第7章 慢性病との共存を支える看護 5 第8章 障害がある人の生活とリハビリテーション 6 第9章 人生の最期のときを支える看護 7 第14章 新たな治療法、先端医療と看護	専門分野 成人看護学 「成人看護学総論」	
	成人看護学方法論 I	1	15	池田美由紀 【1年後期】	1. 現代生活における健康リスクと成人の健康問題との関係について理解する。 2. 成人の健康問題と健康生活を支えるシステムについて理解する。	1-3 第2章 生活と健康 4 第4章 ヘルスプロモーションと看護 5-7 第5章 健康をおびやかす要因と看護 健康バランスの構成要素 健康バランスに影響を及ぼす要因 生活行動がもたらす健康問題と予防	専門分野 成人看護学 「成人看護学総論」	

分野	教育内容	科目名称	単位	時間	担当講師 【開講時期】	科目目標 【設定理由】	科目内容	医学書院 教科書
		成人看護学方法論Ⅱ	1	30	石丸由香子 【2年前期】	呼吸、循環、消化・吸収機能障害をもつ人に対する急性期の看護を理解する	1 成人看護学に必要な看護診断 急性期の看護について 呼吸器、循環、消化吸収解剖生理 2 事例とクリニカルパスの読み取り学習 3-7 事例に応じた術前術後の看護学習 術後当日及び1日目の行動計画立案 事例に応じた術後1日目の病室作成 (モデル人形使用) 8. 9 発表会と評価 10. 11 技術演習 心電図(3点)心電図胸部誘導 循環器疾患心音聴取 (フィジコモデル人形) 12. 13 ストーマパウチ交換技術演習 14. 15 技術試験	専門分野 成人看護学 「呼吸器」 「循環器」 「消化器」 「臨床外科看護総論」「救急看護学」
		成人看護学方法論Ⅲ	1	30	川島佐和子 【2年前期】	内分泌・代謝、排泄、身体防御の機能障害をもつ患者に対する慢性期看護を理解する	1 内分泌・代謝機能の解剖生理 フィードバック 慢性期の看護について 2. 3 II型糖尿病事例の看護過程の展開 4. 5 導き出した看護診断の検討と発表 6. 7 事例に応じたインスリン注射演習 8. 9 事例に応じた指導計画立案と実施 10. 11 排泄機能障害をもつ患者の看護 腎疾患・透析を受ける患者の看護 泌尿器疾患をもつ患者の看護 12-13 身体防御機能障害をもつ患者の看護 14. 15 技術試験	専門分野 成人看護学 「内分泌代謝」「腎泌尿器」 「アレルギー-膠原病感染症」
		成人看護学方法論Ⅳ	1	30	川島佐和子 【2年前期】	脳神経、運動、女性生殖障害をもつ患者の回復期(リハビリテーション期)の看護を理解する	1. 2 脳神経機能障害をもつ患者の看護 脳神経機能の解剖生理フィードバック 回復期、リハビリテーション期について 3-7 脳出血、脳梗塞の回復期事例展開 事例に応じた対光反射、血圧、症状演習 (フィジコモデル人形) 8-11 運動機能障害をもつ患者の看護 運動機能の解剖生理フィードバック 事例による看護過程の展開 事例に応じた病床環境作りと発表 12. 13 女性生殖機能障害をもつ患者の看護 女性生殖機能の解剖生理フィードバック 14. 15 症状、検査、治療を受ける患者の看護 技術試験	専門分野 成人看護学 「脳神経」 「運動器」 「女性生殖器」 「リハビリテーション看護」
		成人看護学方法論Ⅴ	1	30	中道淳美 【2年後期】	終末期にある患者の看護を理解する	1. 2 化学療法を受ける患者の看護 3 終末期にある患者の緩和ケア 4-10 癌患者の事例展開演習 11. 12 IVHルート管理技術演習 13 苦痛の緩和、安楽保持の援助 14. 15 技術演習	専門分野 成人看護学「成人看護学総論」
老年看護学	老年看護学概論	1	30	辻坂衣美 【1年後期】	ライフサイクルにおける老年期の位置づけを明確にし、疾病予防、健康課題、回復過程の特徴を学び看護の役割と機能を理解する。	1 老年看護学ガイダンス 2 老いるということ、老いを生きるということ 加齢に伴う変化の理解と生活の理解 3-5 高齢者の生活機能の変化 6. 7 高齢者の生理的特徴 8. 9 老年期にある人の健康障害の特徴 10. 11 高齢者の理解(疑似体験) 12. 13 高齢者のアセスメント 14 老年看護の基盤 15 老年看護技術の考え方	専門分野 老年看護学「老年看護学」	

分野	教育内容	科目名称	単位	時間	担当講師 【開講時期】	科目目標 【設定理由】	科目内容	医学書院 教科書
		老年看護学方法論Ⅰ	1	15	辻坂衣美 【1年後期】	社会(保健・医療・福祉)の中で老年期の人に応じた健康の維持・増進及び疾病の予防に対する看護の役割が理解できる。	1-4 高齢社会と社会保障 高齢者医療福祉の変遷、統計データ 医療保険、介護保険 地域包括ケアシステム 他 5-7 生活・療養の場における看護の展開 介護予防と看護、在宅高齢者への看護 医療施設、福祉施設における看護	専門分野 老年看護学「老年看護学」 「老年看護病態・疾患論」
		老年看護学方法論Ⅱ	1	30	辻坂衣美 【2年前期】	健康課題に応じた高齢者への援助方法を理解する	1-5 高齢者の生活機能を整える看護 日常生活を支える基本動作と看護ケア 食事、排泄、清潔と看護ケア 生活リズム、コミュニケーションと看護ケア 6-8 老年期にある人の看護 認知機能障害、身体可動性障害の看護 9-15 健康逸脱からの回復と終末期を支える看護の展開 薬物療法、手術療法、終末期の看護 退院時の看護と継続看護	専門分野 老年看護学「老年看護学」 「老年看護病態・疾患論」
		老年看護学方法論Ⅲ	1	30	辻坂衣美 【2年後期】	老年期の対象の特徴をふまえて疾病構造や健康課題を把握し、必要な看護技術を習得する。	1. 2 高齢者の疾患の特徴 認知症・脳血管障害・慢性心不全 3 高齢者肺炎・変形性関節症 4 高齢者の生理的特徴、老年症候群 5-9 主要な症候とおこりやすい問題 高齢者と薬 高齢者に特徴的な機能障害と看護過程 NANDA I 看護診断 10-13 事例に応じた技術演習、患者体験 対象者の持てる力と望む生活を考える 学習の共有とプレゼンテーション 14. 15 技術試験	専門分野 老年看護学「老年看護学」 「老年看護病態・疾患論」 成人看護学「運搬器」「脳神経」「眼」 「呼吸器」 「循環器」
	小児看護学	小児看護学概論	1	30	山巻公子 【2年前期】	小児看護の特徴や理念を理解し成長発達や疾患の状況に応じた看護を学ぶ。	1 小児看護学ガイダンス 小児看護の特徴と理念 2. 3. 4 子どもの成長発達のプロセス 4. 5 小児看護学に関連する理論と看護 6 子どもの福祉と養護(外部講師) 7 子どもの権利と大人の役割 8. 9 子どもと家族の看護 10. 11. 12 子どもの疾病の経過と看護 13. 14 新生児・未熟児の看護 15 新生児・未熟児の看護演習	専門分野 小児看護学「小児看護学概論小児臨床看護総論」「小児臨床看護各論」
		小児看護学方法論Ⅰ	1	15	北川かほる 【2年前期】	子どもの健康の維持増進、疾病予防のための保健活動を理解する。	1 小児と家族の諸統計 出生率・死亡率の推移 2 小児の栄養・離乳食、母乳・ミルク・発達評価 3 新生児・乳児への保健活動 保健所健診 4 幼児・学童への保健活動 予防接種・性教育 5 思春期・青年期の保健活動 学校保健安全法 6 子どもの人権・法律 地域保健活動 7 障害のある子どもと家族の看護 子どもの虐待と看護	専門分野 小児看護学「小児看護学概論小児臨床看護総論」
		小児看護学方法論Ⅱ	1	30	1-7 岡崎 仁志 8-15 田仲 淑子 【2年通年】	小児各期の疾患、治療、検査の実際及び小児臨床看護の実際を学ぶ。	1 第5章免疫アレルギー疾患第7章呼吸器疾患 2 第6章感染症 第16・17章眼・耳鼻科疾患 3 第10章血液・造血器疾患 第11章悪性新生物 4 第12章腎疾患 第19章事故・外傷 5 第4章内分泌疾患 第9章消化器疾患 第8章循環器疾患第 第14章運動器疾患 6 第13章神経疾患 第15章皮膚疾患 7 第1章染色体異常、先天異常 第3章代謝性疾患 第18章精神疾患 8. 9 病気・障害を持つ子どもと家族の看護 10. 11 子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護 12. 13 検査・処置を受ける子どもの看護 14 事故・外傷と看護 15 全体のまとめ	専門分野 小児看護学「小児看護学概論小児臨床看護総論」「小児臨床看護各論」

分野	教育内容	科目名称	単位	時間	担当講師 【開講時期】	科目目標 【設定理由】	科目内容	医学書院 教科書
		小児看護学方法論Ⅲ	1	30	山巻公子 【2年後期】	小児看護に必要な看護技術を習得する。	1. 2 子どもと家族のアセスメント 3. 4 小児看護学に必要な看護診断の読み解き 5-9 事例による小児看護過程の展開 10-13 小児看護に必要な技術演習 小児の点滴固定 微量輸液セット管理 等 14. 15 技術試験	専門分野 小児看護学「小児看護学概論小児臨床看護総論」「小児臨床看護各論」
	母性看護学	母性看護学概論	1	15	水上敦子 【1年後期】	母性看護の対象の特徴と看護の役割、性と生殖の意義について理解する。	1 母性の概念、リプロダクティブヘルス/ライツ 2 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状 3. 4 母性看護学に関連する理論、考え方 5 母性看護における倫理的課題と責任 6 母性保険と母子保健の動向 母性保護と関連施策 7 女性・家族のライフサイクル セクシュアリティの発達と健康問題	専門分野 母性看護学「母性看護学概論」
		母性看護学方法論Ⅰ	1	30	坂田富貴子 【2年前期】	母子の健康の動向及び母子保健医療対策について学び、健康の維持・増進・疾病予防のための保健活動を理解する。 妊娠・分娩期の生理的変化や経過及び看護について理解する。	1 社会環境の変化と子産み・子育て 母性看護の現状と動向 2 家庭環境及び家族関係・役割 母性看護に関する組織と法律 3 周産期医療システムと母子保健施策 4 女性のライフサイクルと母性看護 5 成熟女性の看護 成熟女性の特徴 女性と結婚 家族計画と母子保健/女性と妊娠・出産・育児 6 リプロダクティブヘルスケア 7 更年期以降の女性の看護 8 妊娠期における看護 9 妊娠の生理/心理・社会的特徴 10. 11 妊婦と胎児のアセスメント 12 妊婦の健康管理と日常生活への看護 13 分娩期における看護 14 分娩の発生機序、進行 15 分娩の進行に伴う看護	専門分野 母性看護学「母性看護学概論」「母性看護学各論」
		母性看護学方法論Ⅱ	1	30	水上敦子 【2年後期】	産褥期及び新生児の生理的変化や経過及び看護について理解する。 妊娠・分娩・産褥及び新生児の生理的変化をふまえ、必要な看護技術を習得する。	1. 2 新生児期における看護 3. 4 新生児期における看護演習 5. 6. 7 産褥期における看護 8. 9. 10. 11 看護過程の展開 「正常妊産褥婦・新生児の看護」 12. 13 妊娠期、分娩期、新生児期、産褥期に必要な技術演習 14. 15 技術試験	専門分野 母性看護学「母性看護学概論」「母性看護学各論」
		母性看護学方法論Ⅲ	1	30	1-7 飯田浩史 8-15 石本 知加 【2年後期】	異常妊娠・異常分娩・異常産褥及び異常新生児の病態・治療と母子、家族に及ぼす影響について理解する。 ハイリスク及び異常妊婦・産婦・褥婦・やその家族への看護について理解する。	1 妊娠と不妊 2. 3 妊娠経過 I・II 4 異常妊娠と合併症妊娠 5 分娩の経過 正常と異常 6 産褥の経過 正常と異常(分娩監視装置含む) 7 産褥と新生児 新生児の異常 8. 9 ハイリスク妊婦の看護 10 異常のある産婦の看護 11 異常のある褥婦の看護 12 異常のある新生児の看護 13. 14 精神障害合併妊婦と家族の看護 15. 国家試験問題ティーチングと試験準備	専門分野 母性看護学「母性看護学概論」「母性看護学各論」
	精神看護学	精神看護学概論	1	15	松永洋子 【1年後期】	こころの発達と健康について理解し精神看護学の概要と精神看護の機能と役割を学ぶ	1 こころとは こころを病むとは 2 ストレスと防衛機制 3. 4 こころを病む対象への看護ケア理論 5. 6 精神看護の目的・対象・特徴 精神看護における倫理 7 ケアを必要とする状況	専門分野 精神看護学「精神看護の基礎」

分野	教育内容	科目名称	単位	時間	担当講師 【開講時期】	科目目標 【設定理由】	科目内容	医学書院 教科書
		精神看護学方法論Ⅰ	1	30	河合 正樹 【2年前期】	こころの健康の保持、増進に対する基礎的知識を学び看護で活用する方6. 法について理解する	1 長期入院患者の地域移行支援の展開 2 SSTについて 3 認知行動療法について 4 入院形態・気分障害の理解 5 発達障害の理解・摂食障害の理解 6 トラウマインフォームドケア・統合失調症患者の行動特性 7 オープンダイアログ 8 コンコーダンススキルの紹介と実践 9 ケアの前提・ケアの原則 10 ケアの方法 11 地域移行支援の実際 12 リフレーミングについて 13 WRAP体験 14. 15 障害者福祉サービスについて	専門分野 精神看護学「精神保健福祉」
		精神看護学方法論Ⅱ	1	30	1-7 栢原尚之 8-15 上田貴紀 【2年後期】	精神障害のメカニズムを考え主な疾患の病態・治療と生体に及ぼす影響について学ぶ 精神に障害のある患者や家族への援助に必要な知識・技術を学ぶ	1. 2 精神症候学総論 統合失調症 3. 4 気分障害 認知症 5 不安障害・強迫性障害・解離性障害 6 身体表現性障害・依存症ほか 7 薬物治療・薬理作用・副作用 8 精神療法 9 精神科における看護の役割：入院治療の意味を理解する 9. 10 安全を守る・治療的環境を作る 11. 12 緊急事態に対処する CVPPP 13 疾患症状に対する看護(統合失調症・知覚・妄想) 14 疾患症状に対する看護(不安・パニック(強迫症)) 15 疾患症状に対する看護(うつ病・双極性障害)	専門分野 精神看護学「精神看護の基礎」「精神看護の展開」
		精神看護学方法論Ⅲ	1	30	松永洋子 【2年後期】	精神に障害を持つ人を理解し、必要な看護技術を修得する	1. 2. 3. 4 精神科におけるコミュニケーション技法とプロセスレコード 5. 6. 7. 8. 9. 10 精神疾患をもつ人の生活変化を中心とした看護過程の展開 1) 統合失調症の消耗期にある患者の看護 2) 統合失調症急性期の患者の看護 3) そううつ病の患者の看護(そう状態) 4) そううつ病患者の看護(うつ状態) 11. 12. 13. 14. 15 精神看護技術と問題行動への関わり	専門分野 精神看護学「精神看護の基礎」「精神看護の展開」
	看護の統合と実践	医療安全と看護	1	30	蒲生原千代 【2年後期】	看護における医療安全を再認識し予防・回避行動を考える。	1 医療安全を学ぶことの大切さ 2 事故防止の考え方 3. 4. 5 診療の補助の事故防止 6. 7. 8 療養上の世話の事故防止 9. 10 業務領域をこえて共通する間違いと発生要因 11. 12 医療安全とコミュニケーション 13 看護師の労働安全衛生上の事故防止 14 組織的な安全管理体制への取り組み 15 医療安全対策の国内外の潮流	専門分野 看護の統合と実践「医療安全」

分野	教育内容	科目名称	単位	時間	担当講師 【開講時期】	科目目標 【設定理由】	科目内容	医学書院 教科書
		災害と国際看護	1	30	蒲生原千代 【3年前期】	基本的な災害看護の知識と技術を理解する。 グローバル化を視野に入れた国際社会における看護について理解する	1-4 災害、国際看護の科目ガイダンス 災害医療と看護 災害の種類と特徴 災害時の支援体制と医療体制 災害と法制化 災害看護 5. 6 震災追体験とその記録 防災、減災体験 水と減災 7-12 グローバルヘルス グローバリゼーションと看護 世界の健康問題、JICA事業の理解 青年海外協力隊経験者の国際看護の実際 13-15 応急処置、心肺蘇生術 トリアージ、搬送法、広域搬送 演習	専門分野 看護の統合と実践 「災害看護学」「国際看護学」
		多職種連携と看護	1	30	山本奈津枝 【2年後期】	保健・医療・福祉の統合が進む社会状況において、専門的立場からのサービス提供とともに各職種が連携、協働し総合的支援をすることが求められている。 他職種の専門性の理解と職務の関連性や連携の在り方を学ぶ。	1 看護管理学の構成要素 2 看護マネジメントの変遷と考え方 3 看護ケアマネジメントと看護職の機能 4 チーム医療とは 5 連携、協働、コミュニケーション 6 看護職の責任と役割 7 多職種との連携、協働 8 医師、歯科医師との連携、協働 9 医療関連職種との連携、協働 10 薬剤師、検査、放射線関係職種 11 リハビリテーション関係職種 12 さまざまな関連職種との連携 13 地域の職種との連携 14 看護職のキャリアマネジメント 15 マネジメントに必要な知識と技術	専門分野 看護の統合と実践 「看護管理」
		看護実践と技術の統合	1	30	蒲生原千代 【3年前期】	看護実践力に必要な知識・技術・態度を統合し、看護をマネジメントする基礎的能力における自己の課題を明確にする。	1. 2. 3. 4 技術実践の到達度確認演習 5. 6. 7. 8 複数事例の情報分析と計画立案 9. 10. 11 事例の状況に応じたケアの優先順位 治療内容、感染予防 重症度等の視点で検討 12. 13 ケアの実施とリフレクション 14. 15 技術試験	専門分野 基礎看護学 「基礎看護技術 I・II」 「臨床看護総論」